



平成31年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年5月10日

上場会社名 株式会社ディー・ディー・エス 上場取引所 東
 コード番号 3782 URL http://www.dds.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三吉野 健滋
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部 部長 (氏名) 木田 雪生 TEL 052-955-5720
 四半期報告書提出予定日 令和元年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年12月期第1四半期の連結業績（平成31年1月1日～平成31年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年12月期第1四半期	214	45.7	△56	—	△63	—	△60	—
30年12月期第1四半期	147	△52.1	△112	—	△138	—	△130	—

(注) 包括利益 31年12月期第1四半期 △54百万円 (—%) 30年12月期第1四半期 △130百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年12月期第1四半期	△1.45	—
30年12月期第1四半期	△3.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年12月期第1四半期	1,738	1,446	79.4	33.23
30年12月期	1,815	1,483	77.4	33.91

(参考) 自己資本 31年12月期第1四半期 1,380百万円 30年12月期 1,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年12月期	—	—	—	—	—
31年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年12月期の連結業績予想（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,625	33.7	234	281.2	307	—	400	—	9.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年12月期1Q	41,530,300株	30年12月期	41,409,300株
② 期末自己株式数	31年12月期1Q	一株	30年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年12月期1Q	41,471,155株	30年12月期1Q	39,361,022株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(1株当たり情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

(業績)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益向上がみられる一方、海外政治事情による影響や日銀短観の景況感悪化など引き続き、先行きは不透明な状況にあります。

当社の主たる事業領域である情報セキュリティ業界においては、サイバー攻撃による情報漏えい事故や大規模な仮想通貨流出事件が、国内外で発生し、官公庁、企業サイドや個人を含めた社会全体で情報セキュリティ対策に対する関心は高まっており、また、ネット販売、ウェブサービスの利用者増加に伴い、利用者サイドにおいては、パスワードにとってかわる、より安全かつより簡単な本人確認に対するニーズが拡大してきております。

製品面においては、VAIO株式会社様の「VAIO Pro」シリーズ4機種（VAIO Pro PF/ PG/ PK/PA）の内蔵指紋センサーに対応する多要素認証基盤「EVE MA」の提供開始やデル株式会社様が取り扱うシンクライアントデバイス「Wyse」シリーズとの多要素認証基盤「EVE MA」との連携推進といった他社との協業を強化してまいりました。

また、案件開拓力向上のため、展示会出展やセミナーへの参加による販売促進活動においても、パートナー企業との共同出展や、パートナー企業に当社製品を出展いただくなどの活動を強化、継続した結果、官公庁や大企業向けの第2四半期以降の受注残となる案件を含めた商談が増加してきております。

このような環境のなか、当社の主力事業であるクライアント・サーバーシステムEVEシリーズと指紋認証機器UBFシリーズを中心としたバイオ事業については、地方自治体、官公庁ならびに民間企業での採用が増加し売上に大きく貢献いたしました。

マガタマ・FIDO事業については、Webブラウザから指紋認証等で簡単にサイトへのアクセスや支払承認が可能となりうるFIDO2.0の国際的な普及の兆しが見えつつある状態となっております。

アルゴリズム事業については、海外センサーメーカーとの協業により、複数のスマートフォンメーカーにおいて量産試作の検証段階に入っております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は214百万円（前年同期147百万円）となりました。損益面においては、販売費及び一般管理費は昨年同期比で9百万円増、営業損失56百万円（前年同期は営業損失112百万円）、経常損失63百万円（前年同期は経常損失138百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失130百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、主として現金及び預金の減少（344百万円の減少）により前連結会計年度末に比べて141百万円（10.0%）減少し、1,343百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金237百万円、売掛金638百万円、製品135百万円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、主として自社ソフトウェアへの投資によるソフトウェアの減少（0百万円の減少）により前連結会計年度末に比べて1百万円（0.2%）減少し、394百万円となりました。この内訳は、有形固定資産276百万円、無形固定資産28百万円、投資その他の資産90百万円であります。

投資その他の資産のうち、投資有価証券は26百万円で、これは主にSuperPix MicroTechnology, Ltd. 等に対する出資金から構成されております。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、主として買掛金の減少（10百万円の減少）により前連結会計年度末に比べて34百万円（15.7%）減少し、185百万円となりました。この主な内訳は、前受収益80百万円、賞与引当金16百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、主として長期前受収益の減少（5百万円の減少）により、前連結会計年度末に比べて6百万円（5.5%）減少し、106百万円となりました。この主な内訳は、長期前受収益76百万円、退職給付に係る負債27百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主として新株予約権の行使による資本金の増加(14百万円の増加)及び資本剰余金の増加(14百万円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少(60百万円の減少)により、前連結会計年度末に比べて36百万円(2.5%)減少し、1,446百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年12月期の通期業績予想は、平成31年2月8日に公表しました「平成31年12月期の連結業績予想(平成31年1月1日～令和元年12月31日)」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,708	237,081
売掛金	621,723	638,198
電子記録債権	40,476	40,329
製品	124,860	135,778
短期貸付金	146,000	209,000
立替金	1,949	180,276
その他	51,734	52,483
貸倒引当金	△149,644	△149,636
流動資産合計	1,418,808	1,343,511
固定資産		
有形固定資産		
土地	272,083	272,083
その他(純額)	4,812	4,198
有形固定資産合計	276,896	276,282
無形固定資産		
ソフトウェア	29,391	28,570
無形固定資産合計	29,391	28,570
投資その他の資産		
投資有価証券	26,329	26,325
その他	83,375	82,971
貸倒引当金	△19,217	△19,217
投資その他の資産合計	90,487	90,079
固定資産合計	396,775	394,931
資産合計	1,815,584	1,738,442

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,637	9,740
未払法人税等	30,048	2,444
賞与引当金	4,231	16,925
前受収益	86,112	80,973
その他	79,397	75,744
流動負債合計	220,427	185,828
固定負債		
長期前受収益	82,211	76,987
退職給付に係る負債	26,849	27,856
その他	3,088	1,178
固定負債合計	112,150	106,022
負債合計	332,577	291,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,497,252	3,512,182
資本剰余金	3,587,268	3,602,198
利益剰余金	△5,527,441	△5,587,683
株主資本合計	1,557,078	1,526,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,151	7,147
為替換算調整勘定	△159,866	△153,808
その他の包括利益累計額合計	△152,715	△146,661
新株予約権	78,643	66,555
純資産合計	1,483,006	1,446,592
負債純資産合計	1,815,584	1,738,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至平成31年3月31日)
売上高	147,192	214,472
売上原価	85,276	87,378
売上総利益	61,915	127,093
販売費及び一般管理費	174,062	183,798
営業損失(△)	△112,147	△56,704
営業外収益		
受取利息	38	28
雑収入	341	0
営業外収益合計	380	28
営業外費用		
為替差損	25,892	6,089
その他	729	548
営業外費用合計	26,621	6,638
経常損失(△)	△138,388	△63,314
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,942
特別利益合計	—	5,942
税金等調整前四半期純損失(△)	△138,388	△57,371
法人税、住民税及び事業税	609	4,780
法人税等調整額	△8,166	△1,910
法人税等合計	△7,556	2,870
四半期純損失(△)	△130,831	△60,242
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,831	△60,242

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至平成31年3月31日)
四半期純損失(△)	△130,831	△60,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,280	△3
為替換算調整勘定	26,709	6,058
その他の包括利益合計	429	6,054
四半期包括利益	△130,402	△54,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△130,402	△54,187
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至平成31年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△3円32銭	△1円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額(△) (千円)	△130,831	△60,242
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失金額(△)(千円)	△130,831	△60,242
普通株式の期中平均株式数(株)	39,361,022	41,471,155

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。